

三年学年だより

No. 5

9月号

平成30年9月11日

3年4組 担任・副担任

「一期一会」

私は国語教師である。国語教師といえば、日々辞書に目を通し、漢字は完璧、ことわざや四字熟語はお手の物。もちろん字もきれいで、何か質問すればすぐに的確な答えが返ってくる。……なんていう勝手なイメージを抱いていませんか。まあ、確かにね。そういう先生もたくさんいますよ。でも、残念ながら私はそういうタイプではない。私はどっちかという、一緒に考えながら答えを探っていくタイプ。だから、現代文の授業なんかしていると、「ほんとにこの解釈でいいのかな」とか、発問に対して想定外の答えが返ってきたときにも、「そっちの方がいいかも」とか思っちゃう。ほんとは「それは違うよ」ってはっきり言える方がいいんだと思うけど、「それもいいなあ」って思ってしまうのは生まれつきだから仕方ない。でも、それはきっと短所ではなくて長所なんだと、自分では思っている。教師生活も今年で23年目に突入したが、まだまだ毎日新しい発見ばかりである。

さて、そんな私が最近よく考えるのが「一期一会」という四字熟語である。意味は、大丈夫だよな？

「生涯に一回しかないと考えて、その機会に心を尽くすこと」

人生は出会いと別れの繰り返しで、出会ったら必ず別れがある。だからこそ、今の一瞬を大事にしたい。と、頭では分かっているけれど、これを実践するのは本当に難しい。自分は、今できることを全部しているだろうか。かけがえのないこの一瞬を、無駄にしてはいないか。残念ながら私は失格である。日々締め切りに追われ、いかに今日をしのぎきるかが一番の関心事になってしまっている。

この夏、それではだめなんだと痛感した。そして、改めて君たちが入学してからのこの3年間を振り返ってみると、後悔ばかりである。あれもできた。これもできた。後悔に押しつぶされそうになった。でも、だからこそ、今は前を向くことが大切なんだと思う。たぶん後悔のない人生なんて存在しない。でもそれを減らす努力をする人生には、何かの意味があるんだと思う。今できることを、精一杯やってみよう。

(304担任)

“大丈夫” !!

この言葉は、松山商業高校から松山大学を経て、三井住友海上陸上競技部で日本の女子マラソン界を牽引してきた松山市北条出身の土佐礼子さんが、高校の後輩たちに送ってくださった言葉です。土佐さんは、2度のオリンピックと世界陸上に日本代表として出場し、世界陸上ではエドмонт大会で銀メダル、大阪大会で銅メダルを獲得しました。非常に粘り強い走りで、多くの人を感動の渦に巻き込みました。そんな土佐さんが、高校駅伝に臨む後輩たちのために、この言葉を襷(たすき)に書き記してくださいました。私も、この言葉にとっても感銘を受け、今も大切にしています。

これから、それぞれの進路実現のために大きな不安を抱えながら過ごす日々も、たくさんあると思います。しかし、自分の目標をしっかりと見据えて重ねた努力は、必ず報われるときが来ます。自分の力を信じ、ここまで支えてきてくださった保護者や先生方の激励に感謝しながら、迷うことなく一歩ずつ前に進んでいきましょう。めざすゴールは必ず見えてきます。しっかり駆けていってください。

…… “大丈夫” !!

(304副担任)